News Clip & AV Material

ニュースクリップ&映像教材

■全国視聴覚教育連盟「近畿ブロック研修会」開催される

全国視聴覚教育連盟による標記研修会が、平成25年８月30日（金）、大阪市立総合生涯学習センターにおいて開催された。「デジタル時代に対応したメディアの活用」をテーマに、生涯学習社会におけるICT活用やメディア研修の推進、映像コンテンツのデジタル化支援等について、実践事例発表とともに研究協議が行われた（本誌49頁参照）。当日の様子は、下記URLにも公開されている。http://www.zenshi.jp/

文部科学省情報

■ 平成25年度文化庁映画賞（文化記録映画部門・映画功労部門）の決定について

文化庁では、我が国の映画の向上とその発展に資するため、文化庁映画賞として、優れた文化記録映画作品および永年にわたり日本映画を支えてこられた方々に対する顕彰を実施している。本年度の受賞作品および受賞者を下記のように決定した。

○文化記録映画部門 文化記録映画大賞「先祖になる」、文化記録映画優秀賞「異国に生きる　日本の中のビルマ人」、「福島　生きものの記録シリーズ１―被爆―」。

○映画功労部門　澤登翠氏（活動写真弁士）他８名。詳細は、下記を参照のこと。

http://www.bunka.go.jp/

〈問い合わせ先〉文化庁文化部芸術文化課
TEL 03-6734-2083

■「文化庁メディア芸術祭富士の国やまなし展」開催

メディアアート、アニメーション、ゲーム、マンガ等の優れたメディア芸術作品を顕彰し、発表の場と鑑賞の機会を提供するため、文化庁主催による標記企画展が開催される。

〈日時〉平成25年10月13日（日）～20日（日）10:00～19:30※20日は、17:00終了。

〈会場〉山梨県防災新館「やまなしプラザ」（山梨県甲府市丸の内1-6-1）他。

〈内容〉トークイベント、デモンストレーション、ワークショップ「アニメーションワークショップ『ゾートロープ』を作ろう！」等。詳細は、下記を参照のこと。

http://www.mediaarts3776.jp/

〈問い合わせ先〉文化庁メディア芸術祭山梨展事務局（株）UTY 企画内　TEL 055-235-7664（受付時間10:00～17:00 土日祝祭日除）

AV情報

■ 山形国際ドキュメンタリー映画祭

ドキュメンタリー映画に特化したNPO法人山形国際ドキュメンタリー映画祭による標記映像祭が開催される。
〈日程〉平成25年10月10日（木）～17日（木）
〈会場〉山形市中央公民館（山形県山形市七日町1-2-39）他。
〈内容〉インターナショナル・コンペティション（世界各地より応募された中から15作品上映）、日本プログラム（日本のドキュメンタリー作品を紹介）等。詳細は、下記を参照のこと。
http://www.yidff.jp/home.html
〈問い合わせ先〉NPO法人山形国際ドキュメンタリー映画祭事務局　TEL 023-666-4480

■「地方の時代」映像祭高槻フォーラム

関西大学では、「“つながりの文化”の描き方―若者と同時代メディアをとらえる視点」をテーマに、標記フォーラムを開催する。
〈日時〉平成25年10月19日（土）14:00～17:30
〈会場〉関西大学高槻ミューズキャンパス西館5Fミューズホール（大阪府高槻市白梅町7-1）
〈内容〉ドキュメンタリー番組（「ちかごろトモダチ事情」（毎日放送、テレビ山口）、「震災シューカツ3.11―とある就活生の場合―」（東京大学大学院情報学環・学際情報学府「東京3.11の記録」プロジェクト）、「日常をジャックせよ」（東京大学大学院情報学環教育部））などの上映。詳細は、下記を参照のこと。
http://regionalism.jp/guide/event.html
〈問い合わせ先〉関西大学社会連携部
TEL 06-6368-1245

■ デジタルコンテンツEXPO　2013

経済産業省と（一財）デジタルコンテンツ協会主催により、「Features 2013」をテーマとして標記イベントが開催される。
〈日時〉平成25年10月24日（木）～26日（土）10:00～17:00
〈会場〉日本科学未来館（東京都江東区青海2-3-6）
〈内容〉プロジェクションマッピングの展示・実演、シンポジウム等。詳細は、下記を参照のこと。
http://www.dcexpo.jp/
〈問い合わせ先〉（一財）デジタルコンテンツ協会デジタルコンテンツEXPO 事務局
MAIL　apply@dcexpo.jp

■ 笹川科学研究助成先募集

（公財）日本科学協会では、科学研究の将来を担う人材育成とその研究奨励のため標記助成先を募集している。
〈助成対象となる研究〉○学術研究部門「一般科学研究」人文・社会科学および自然科学（医学を除く）に関する研究と「海洋・船舶科学研究」○実践研究部門「実践研究」博物館や学校、NPOなどに所属している者が、その活動において直面している社会的諸問題を解決するために行う研究を対象。詳細は、下記を参照のこと。
http://www.jss.or.jp/ikusei/sasakawa/
〈助成額〉学術研究部門100万円／件、実践研究部門50万円／件
〈締切〉○学術研究部門　平成25年10月15日（火）、○実践研究部門　平成25年11月15日（金）両日の17:00まで。
〈問い合わせ先〉（公財）日本科学協会笹川科学研究助成係　TEL 03-6229-5365

■「鈴木みどりメディア・リテラシー研究基金」第８回研究助成先募集

メディア・リテラシー分野における若手研究者を対象に、独創的で優れた研究活動を助成することによって、同分野における人材の育成を図るとともに、広くメディア社会を生きる能動的な力の育成に貢献することを目的に、標記助成先を募集している。
〈対象者〉①年齢　原則として40歳以下。②職業、所属を問わない。③国籍を問わない。ただし助成期間中は、原則として日本で継続的に研究可能な人。④１年を超える研究テーマ（ただし、今後の研究予定期間が最大３年のものまで）あるいは少数による共同研究テーマでも良い。
〈助成金額・件数〉原則として１テーマあたり30万円、毎年３テーマ以内。詳細は、下記を参照のこと。
http://www.mlpj.org/kk/
〈締切〉平成25年11月11日（月）消印有効。
〈問い合わせ先〉NPO法人FCTメディア・リテラシー研究所（研究助成金担当）
MAIL　h59633gt@tg.rim.or.jp

■ 第52回（平成25年度）下中科学研究助成先募集

（公財）下中記念財団は教育研究を助成するため、助成先の募集を行っている。
〈対象とする専門分野〉①自然（算数・数学、理科教育、物理等11分野）、②人文（国語、道徳、特別支援教育等９分野）、③その他（教育一般、情報教育等５分野）
〈応募資格者〉全国小、中、高校、中等教育学校、特別支援学校、高等専門学校の教員（教育センタ

ーを含む）を対象とし、研究は個人、共同を問わない。ただし応募は一人１点に限る。詳細は、下記を参照のこと。
http://www.shimonaka.or.jp/
〈助成金額〉総額900万円（１件当り30万円を30件）
〈締切〉平成25年12月10日（火）消印有効。
〈問い合わせ先〉（公財）下中記念財団事務局
TEL 03-5261-5688

研究会情報

■ 日本教育情報学会第29回年会

日本教育情報学会では「地域文化を教育に」をテーマに、標記年会を開催する。
〈日時〉平成25年11月９日（土）10:00～17:15、10日（日）９:30～16:00
〈会場〉沖縄女子短期大学（沖縄県那覇市長田2-2-21）
〈内容〉基調講演「伝統文化をいかに伝承していくか」講演者：佐々木正峰氏（元文化庁長官）、シンポジウム「地域文化を教育に」、課題研究・一般研究発表等。詳細は、下記を参照のこと。
http://www.gijodai-okinawa.jp/nenkai29/program.html
〈問い合わせ先〉日本教育情報学会第29回年会実行委員会　TEL 098-835-4681

コンクール情報

■ 映文連アワード2013受賞作決定

（公社）映像文化製作者連盟が主催する標記アワードには、156作品の応募の中から、最優秀作品賞（グランプリ）１作品、文部科学大臣賞１作品他が決定した。最優秀作品賞　（グランプリ）「ダイハツコペン3D」、文部科学大臣賞「Eternal Return―いのちを継ぐもの―」。他受賞作品は、下記を参照のこと。http://www.eibunren.or.jp/
〈問い合わせ先〉（公社）映像文化製作者連盟
TEL 03-3662-0236

■「第５回 座・高円寺ドキュメンタリーフェスティバル」コンペティション部門作品募集

座・高円寺ドキュメンタリーフェスティバル実行委員会では、標記フェスティバルにともない作品を募集している。
〈応募作品規定〉ドキュメンタリー映画、文化映画、記録映画、科学映画、教育映画、テレビ番組など。フィクション（劇映画・ドラマ）やアニメは不可。制作年次が過去３年以内のもの。応募資格者は、年齢、国籍、性別、個人、グループ、プロ・アマを問わない等。詳細は、下記を参照のこと。
http://zkdf.net/
〈賞〉賞金10万円。入賞作品については、制作者（１名）をゲストとして、「第５回 座・高円寺ドキュメンタリーフェスティバル」に招待。
〈締切〉平成25年11月30日（土）当日消印有効。
〈問い合わせ先〉「座・高円寺ドキュメンタリーフェスティバル」実行委員会「コンペティション部門」事務局　TEL 03-5570-3551

文部科学省選定作品

■８月選定　紙紙しばい／ビビデオ／DDVD
特選**「言葉のきずな」**D107分〈青年・成人、地域社会生活（地域の保健・福祉）※少年においては選定〉言葉のきずな制作委員会
「サンマ棒受網漁―サンマの生態・漁獲・利用―」D10分〈高等学校・水産〉（株）CNインターボイス
「しゅつどう！はしごしゃノビールくん」紙８枚〈幼稚園幼児／幼児、教養〉（株）童心社
「温故知新―薬害から学ぶ―筋短縮症」D22分、**「温故知新―薬害から学ぶ―サリドマイド」**D29分〈青年・成人、職業の知識技術（医療・福祉）〉（株）メディアバンガード
「旅する映写機」D105分〈青年・成人、教養〉「旅する映写機」製作委員会

放送番組

「ティーンズプロジェクト　フレ☆フレ」

Ｅテレ（土）17:55～18:25再放送（土）０:15～０:45※都合により番組内容変更有。
〈月のテーマから〉○「参上！文芸戦士・リテラクリーガー―ヒーロー映画に挑む文芸男子―」、○「アニメ制作プロジェクト第４回」、○「海なし県に“夢あふれる水族館”を！」、○「モノマネは世界を救う!?―路上ライブにかける青春―」
番組詳細は、下記を参照のこと。
http://www.nhk.or.jp/teens/